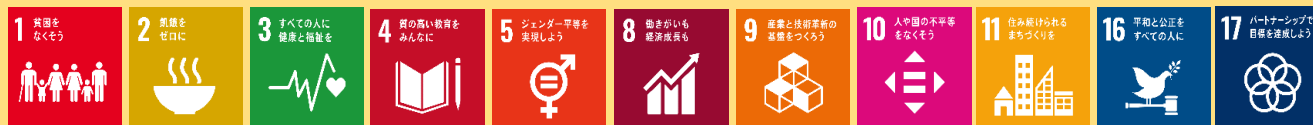


グローバル化の社会情報経済学

研究分野: 社会情報学、情報経済学、経営情報学、国際関係論、情報文化論

キーワード: ネットワーク経済論、地政経済学、産業組織戦略、地域コミュニティ開発

貢献できるSDGsの区分:



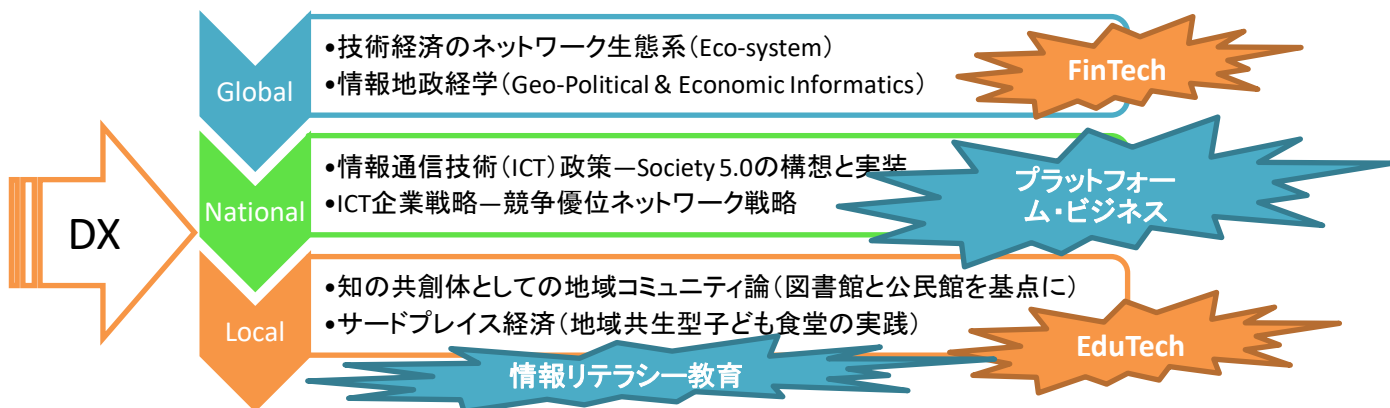
国際社会学部 国際社会学科 准教授 河又 貴洋

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/t-kawamata/>

研究概要

「情報化のパラドックス」: 情報化の進展に伴う社会経済問題の学際的研究

○情報ネットワーク社会経済の基盤であるインフラストラクチャー(固定資本)とインフォストラクチャー(制度・社会規範)に支えられながら、「市場」において動的平衡をもたらす供給(企業活動)と需要(コミュニティ活動)におけるネットワーク形成の政治文化経済学モデルを開発する。



産学連携の可能性(アピールポイント)

- ①情報通信技術の社会的実装(企業戦略上の導入)に伴う課題と効果の検討
- ②地域創生事業に関わるコンセプト開発/公共空間のデザインとその活用(公民館の利活用と子ども食堂
事業支援—フードバンク/フードドライブ/フードロス対策)
- ③青少年のインターネット利用に関わる情報リテラシー教育・社会的支援の指導
- ④離島地域の文化振興と地方創生のネットワーク戦略(地域電子マネー構想等)についての助言
- ⑤インバウンド需要に対する電子マネーやMaaS構想の展開 他

外部との連携実績等

- ①「新上五島町人口減少対策のためのガイドライン作成報告書」(新上五島町との相互協定事業、平成29年3月)
- ②「シーボルト食堂」(地域共生型子ども食堂)の実践(長与町との連携協定事業、平成30年度～現在)
- ③「青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 長崎」(内閣府主催、令和元年11月29日)コーディネート
- ④社会情報学会研究会「SDGsと社会情報学～持続可能な社会構築のための情報学を島から考える」(長崎県・壱岐市・対馬市後援、令和3年11月13日)企画・司会